

(様式2)新規評価シート

建設部 道路建設課

事業名	道路改築事業		路河川名等	(国)158号		
事業毎の通番	3	市町村名	松本市	箇所名(ふりがな)	狸平(ためきだいら)	
事業目的	(国)158号は福井県福井市を起点として岐阜県高山市を経由し長野県松本市に至る主要な幹線道路であり、上高地や乗鞍高原へのアクセス道路としても利用されている。山間道路のため代替路線がなく、ひとたび災害が発生すると、集落の孤立や観光・物流面に大きな影響を与えることとなる。このうち狸平地区は、(一)梓川と切り立った崖に挟まれた線形不良区間で、法面からの落石が多発しており、円滑な走行に支障が生じている状況である。このため、線形不良区間の解消と防災危険箇所の回避を目的とし、トンネルと橋梁整備を含めた道路改築事業を実施したい。					
しあわせ信州創造プランにおける位置付け	5-2 快適で暮らしやすいまちづくり(暮らしを支える道路網の整備)	事業実施の根拠法令等	道路法			
関連する事業、計画等	しあわせ信州創造プラン 長野県強靱化計画、地域防災計画(第1次緊急輸送路)					
保全対象・範囲 受益対象・範囲	計画交通量：8,200台/日					
着手年度	平成29年度	事業期間	9年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)	
完成年度(見込み)	平成37年度	費用対効果	1.2	国庫	その他 県債 一般財源	
全体事業内容(主な工種)	道路築造工 L=1,540m、W=6.5(9.0)m	5,000,000	2,750,000	2,025,000	225,000	
年度事業内容(主な工種)	路線測量 一式、地質調査 一式、道路詳細設計 一式	60,000	33,000	24,300	2,700	
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	走行時間、経費等の減少 52億円 緊急輸送路(1次)の整備				
	間接的効果(定量的・定性的)	地域間交流の促進 観光振興				
評価の視点	必要性	○代替道路の有無：なし ○交通結節点アクセス：長野自動車道 松本IC アクセス ○観光地アクセス：観光地に通じる道路(上高地、乗鞍高原) ○地域の活性化：松本中心市街地と安曇地域を連絡する道路			評価	A
	重要性	○関連計画、重点施策との整合：しあわせ信州創造プラン「事業着手」 ○緊急輸送路の路線指定：緊急輸送路(1次) ○地域指定：振興山村、過疎地域、豪雪地域、積雪地域			評価	A
	効率性	○費用対効果(B/C)：1.2 ○事業期間：9年(H29~H37) ○代替案の検討：ルート比較検討を実施 ○他事業との連携：あり((国)158号 松本市 奈川渡改良)			評価	A
	緊急性	○近年の交通事故件数：H25~H27:物損事故42件、人身事故5件 ○危険箇所対策：落石実績あり(H16.10、H18.7) ○歩道整備：整備なし ○道路構造：最小半径23m、最急勾配9.7%			評価	B
	計画熟度	○事業情報の共有：関係者に周知(回覧文にて調査実施連絡、沿線住民の会会報にて事業状況を報告) ○地域の取り組み：積極的な取り組みがある(国道158号整備促進期成同盟会、沿線住民の会) ○地域の合意形成：事業目的について合意形成が図られている ○住民との協働：毎年、道路清掃を実施			評価	A
部意見	事業の必要性、重要性は高いため、平成29年度から新規事業化したい。	行政改革課意見	広域的な幹線道路であるものの、現道は線形不良で法面からの落石が多発し、円滑な交通に支障をきたしていることから、必要性、重要性が認められる。	評価結果	総合評価	○ A

事業概要説明図表	【位置図】		【平面図】		
	【状況写真】		【標準横断面図】		
事業周辺環境	①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	(国)158号は福井県福井市を起点として岐阜県高山市を経由し長野県松本市に至る主要な幹線道路であり、上高地や乗鞍高原への観光道路でもあるが、代替路線がなく、災害発生時には集落の孤立や観光・物流面に多大な影響を及ぼしている。当該事業区間は、(一)梓川と急峻な山地に挟まれた線形不良区間で、法面からの落石が多発しており、円滑な走行に支障が生じている状況にあることから、線形不良区間の解消と防災危険箇所の回避を目的とし、トンネルと橋梁整備を含めた道路改築事業の早期実施が求められている。			
	②地域からの要望経緯及び地域の関わり	国道158号整備促進期成同盟会 長野県要望、長野国道事務所要望(H27.6.4)及び国土交通省要望(H27.8.27)を実施。			
	③事業説明等の経緯	調査開始にあたり、その内容は地区住民へ説明済である。また、沿線町会からなる「国道158号改良を促進する沿線住民の会」会報にて、道路事業概要を周知している。会からは早期の事業化を要望されている。「沿線住民の会」の平成26年度総会にて事業目的を説明。			
	④他事業・プロジェクトとの整合、関連	しあわせ信州創造プラン「事業着手」 長野県強靱化計画、長野県地域防災計画(第1次緊急輸送路) 中部縦貫自動車道(IC間の集落からのアクセス道路として必要)			
	⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	トンネルによるバイパス計画により、周辺の地形改変が最小限となるよう配慮している。			
	⑥地域活性化への影響と配慮	本事業により松本ICと上高地を繋ぐことによる道路の信頼性を向上、災害時の緊急輸送機能の確保が図られ、交通の円滑化、安全な通行が確保されることにより周辺観光地の活性化も期待される。			
	⑦その他	ルート比較検討によりコスト縮減に努めている。			
	事業代表地点の緯度経度	北緯:N 36° 10' 13" 40 東経:E 137° 46' 41" 51			